

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)マルハン小田原店 新築工事	階数	地上1F
建設地	小田原市国府津字立原2810番1他	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	1,150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,000 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年1月 予定	評価の実施日	2020年8月7日
敷地面積	17,786 m ²	作成者	株式会社朝日建築一級建築士事務所
建築面積	3,753 m ²	確認日	2020年8月7日
延床面積	3,730 m ²	確認者	株式会社朝日建築一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 91%

③上記+②以外の: 91%

④上記+: 91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境	1.0
温熱環境	2.6
光・視環境	N.A.
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.4
耐用性	3.2
対応性	3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.6
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.7
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	3.3
地域環境	3.6
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
特になし	特になし
Q1 室内環境 F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、喫煙室は室内を負圧に保つなど空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 補修必要間隔の長い外壁材・配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を91%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。
LR1 エネルギー LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓に加えて節水型便器も採用している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される